



2023年7月24日

## 株式会社メタメンターでのデジタル技術活用及びDX推進の取組状況

### ① 市場環境の変化への対応

昨今のデジタル技術の進歩は著しく、Chat-GPTに代表されるようなGenerative AIやNFTやメタバースなどは実験段階から商用利用されるようになって参りました。デジタル技術の活用は事業発展において、もはや不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、さらに重要なインフラ・経営資源になることは明らかです。

このような市場環境の中、事業の継続的な発展を実現していくには、デジタル技術を活用したお客様の課題解決が重要だと考えています。

### ② 経営ビジョン及びビジネスモデル

当社は「コーチングをもっと身近に、もっとデジタルに、もっとサイエンスに」をビジョンに掲げて活動しております。VUCA (Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性) と呼ばれる時代だからこそ一人一人が自ら考え行動ができるようになるコーチングのニーズが高まっております。しかしながら、コーチングの性質上、労働集約的なビジネスモデルとなっているため市場拡大にはデジタル化が急務となっております。当社では、コーチング提供企業に対してデジタルツールを提供することでデジタルコーチングを推し進め、コーチ並びにコーチング提供企業の業務を効率化・効果の見える化を実現して参ります。

その結果として、コーチ、コーチング提供企業、コーチング導入企業、そして弊社の各ステークホルダーの生産性向上を目指します。

### ③ 経営ビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略（DX人材育成含む）

コーチング提供企業は当社ツールを利用することで、コーチング導入企業の生産性や離職率などの各KPIをコーチング導入前後で比較することが可能になると共に予約、オンライン通話、決済などのコーチング業務プロセスのデジタル化を実現いたします。結果として、コーチングの効果を見える化・業務の効率化を実現いたします。

DX人材育成については、今後採用した人材について、技能指導や外部開催の研修への参加、資格取得促進に加え、教材費（書籍・eラーニング）は会社負担にするなど、従業員のリスクリング制度を設け、実施して参ります。

### ④ 戦略推進のための体制・組織

本プロジェクトの責任者である代表取締役の小泉 領雄南が、システム開発責任者として監修及び進行管理を行い、DX 技術に長けた社外協力会社と連携して推進して参ります。